



No.139

平成24年12月11日

議会広報

# いえそん



## 第19回国頭地区PTA研究大会伊江村大会 育てよう 心豊かで たくましく生きる子どもを



演題、「小さなこと」

講師  
興南高等学校

発行／伊江村議会  
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38  
TEL:0980-49-2924  
編集・印刷／(有)サンエス  
TEL:098-889-7421



▲10年ぶりに伊江村で開催された国頭地区PTA研究大会のアトラクションで合唱を披露する伊江中学校3年生の皆さん

- 平成24年第6回 9月定例会 ..... 2
- 一般質問 ..... 3~10
- 議決の結果 ..... 11
- 意見書 ..... 12~13
- 伊江村議会視察研修報告 ..... 14
- 議会の活動 ..... 15
- 台風被害視察 ..... 16

いえそん No.139  
議会広報  
平成24年12月11日

## 議会の活動

### 平成24年9月

- 4日：平成24年北部振興会第1回総会(議長)  
オスプレイ配備反対県民決起集会(議長・副議長)
- 7日：議会運営委員会(議会運営委員)
- 9日：オスプレイ配備に反対する県民大会(全議員)
- 10日：伊江村畜産共進会(全議員)
- 11~13日：第6回9月定例議会
- 21日：葉たばこ販売終了会(議長)
- 22日：伊江小学校運動会(伊江小区域議員)
- 23日：西小学校運動会(西小区域議員)
- 25日：北部地区畜産共進会  
(経済・公営企業常任委員、議長)
- 29日：伊江村陸上競技大会(全議員)



▲オスプレイ配備に反対する県民大会

### 平成24年10月

- 1~4日：矢崎総業・日本ゴルフツアーミュージアム表敬(議長)
- 9~12日：町村議会議長会定例総会  
離島振興町村議会議長会(議長)
- 13日：やんばる産業祭り(議長)
- 22日：飲酒運転根絶県民大会(議長)
- 25~28日：全国和牛能力共進会(全議員)
- 28日：老人・婦人運動会(全議員)
- 31日：議会運営委員会(議会運営委員)



▲全国和牛能力共進会

### 平成24年11月

- 1日：144周年灯台記念祝賀会(議長)
- 6日：第7回臨時議会
- 8日：沖縄県畜産共進会(全議員)
- 9日：港湾整備に関する意見書提出(全議員)
- 10日：伊江村産業祭り(全議員)  
老人ホーム運動会(議長)
- 12~17日：第56回全国町村議会議長会他(議長)
- 18日：母子寡婦福祉大会(議長)、  
20日：TPP交渉参加阻止・さとうきび政策確立農業代表者集会(議長)
- 24日：離島フェアー視察(総務常任委員、議長)



▲伊江港港湾整備に関する意見書提出

### どうぞ 傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924 (直通)

### 伊江村議会HPで最新情報を！

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したものです。

さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。

<http://www.iejima.org/iegikai/>  
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)



歳出81億円を 81億

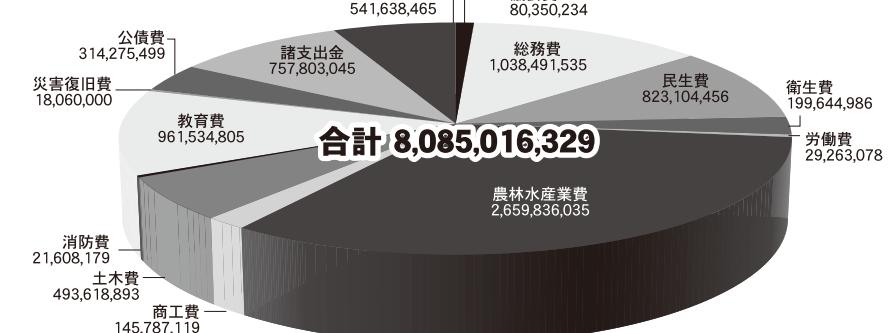
## 平成24年第6回 9月定例会

# 一般会計歳出81億円(6会計を認定)歳入85億円



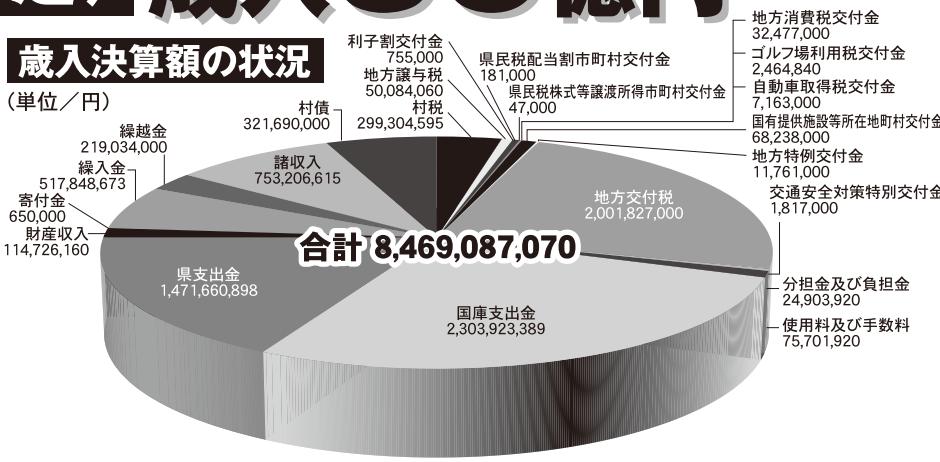
## 目的別歳出決算額の状況

(単位／円)



## 歳入決算額の状況

(単位／円)



## 決算審査意見書より

伊江村監査委員  
代表監査委員 玉城 忠治  
議選監査委員 島袋 義範

### 一般会計

一般会計においては、諸事業が計画どおりに執行され、一定の成果を納めたことは評価できるが、決算年度末での村滞納税額は29,108,172円で、その内18件の不納欠損額がある。村営住宅使用料1,443,700円の家賃収入未済額があることは誠に遺憾である。年々増加傾向にあるので、今後の財政運営にも支障をきたすおそれがある。自主財源の確保は最大の課題であり、村民の納稅意識の啓蒙と職員の縦横の連携意識の高揚を図り、更なる徴収に最善を尽くすよう強く望む。

### 診療所

診療所会計は、診療事業収入だけでは運営できず、毎年度一般会計からの繰入れ（減額傾向にある）で運営がなされているが、当年度においては収入増が図られ、対前年度収支で1,257,411円の増となったことは評価されることである。今後とも経費の節減に努め、施設や医療機器を活かし、村民の疾病予防の強化を図り、健康管理に尚一層の取り組みを望む。

### 国保特別会計

国民健康保険税で2,163,754円の収入未済額があり、その内訳は過年度182,784円、現年度分3,351,900円となっている。不納欠損額が1,196,700円あり、誠に遺憾である。“払い損・逃げ得”と言われないように関係法令等に基づいて、時効中断の措置に努め、今後の徴収業務に尚一層の取り組みを望む。

### 後期高齢者医療特別会計

高齢者の医療の確保に関する法律による医療制度で75歳以上の方と一定の障がいのある65歳以上の方達が対象の医療制度である。歳入については、後期高齢者医療保険料（64.7%）、一般会計繰入金（30.5%）等で、歳出は総務費（2.7%）と後期高齢者医療広域連合納付金（97.3%）となっている。

### 基金運用状況

平成23年度末で8基金が設置されている。各基金とも運用の目的に従って適正かつ効率的に運用され計数も正確であると認める。

### 水道事業会計

当年度は、全体取水量が対前年度比で11%増となっている。降雨量によるものと思慮される。また、無効水量は依然として高い数値を推移しているが、前年度から△18.8%に減っている。漏水対策は今後の大きな課題で、老朽管の早急な改修対策を講じる必要がある。

今後とも安全で安心良質な水を安定供給できるように漏水防止対策を強化して、健全経営を図るよう切望する。

### 船舶運航事業

旅客運送は対前年度比2,202人の減で、ほぼ横這いといえる。車両航送は対前年度比1,946台の減となっている。その原因是、サトウキビ運搬が無くなつたこと、多くの村民が本部港に車を置くようになつたことが考えられる。

これからも船舶運航事業の健全運営と村民の足としてサービス向上と安全航海に取り組まれ一層の研鑽を要望する。

## 決算審査特別委員会質疑

### 【平成23年度決算】

平成24年第6回(9月)定例会を、9月11日～13日までの3日間の会期で開きました。

本定例会では、平成23年度各会計の決算認定や平成24年度一般会計及び特別会計補正予算案等23議案を審議しました。（審議結果は11ページをご覧ください。）

また、開会初日には一般質問が行われ、7人の議員が村の対応や考えを問いました。

平成23年度決算に認定あつては、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行いました。

その結果、付託された6決算案はすべて認定すべきものと決定されました。

軽自動車税等については、担当職員が所有者等に直接出向き車両の確認し、所有者が本村に籍をおいているか実態調査に入っている。不納欠損については、課税の時点で外に転出又は居所不明等が不納欠損となつていてる。

不納もかなりの額になつてゐるが今後の見通しは。

扶助費で1,753,301円の不用額についての説明と理由をお願いしたい。

支援事業は国の法的な根拠に基づき実施するもので、3月末まで出される申請も給付していくため、3月の補正で落とすことは不可能である。その結果としてこれだけの不用額が出ている。不用額をある程度見越すことも次に付していくため、3月の補正で落とすことは不可能である。

その結果としてこれだけの不用額が出ている。不用額を付していくため、3月の補正で落とすことは不可能である。

当職員が所有者等に直接出向き車両の確認し、所有者が本村に籍をおいているか実態調査に入っている。不納欠損については、課税の時点で外に転出又は居所不明等が不納欠損となつていてる。

不納もかなりの額になつてゐるが今後の見通しは。

扶助費で1,753,301円の不用額についての説明と理由をお願いしたい。

支援事業は国の法的な根拠に基づき実施するもので、3月末まで出される申請も給付していくため、3月の補正で落とすことは不可能である。

その結果としてこれだけの不用額が出ている。不用額を付していくため、3月の補正で落とすことは不可能である。

近いと思うが、代替地は決まつてないか。また次の場所の地主とも話し合われているか。

代替地としてはアツバフ東側を予定しており、進入口の地権者に同意を取り付けている。9月頃には測量を行い、境界等を確認し近くの方々に計画の説明をするということで進めていく。

# 村政の9月定例会一般質問

## ここを問う！



### 高齢者が団体で旅行する場合の各種助成策の実施について

村長／村民の意見を聞きながら検討し、広く還元できるような方向で対処すべきだと思う

**問** 本村は去る大戦において一木一草焼け野原となり、村土は焦土と化してしまった。疎開先から帰島が許されてから今日までの長きにわたって、高齢者の皆さんは大変なご苦

労と難儀をされ、今日の伊江村の発展に多大なご貢献をされた。これまでのご苦労に感謝し、今後の余生は有意義にお過ごしいただきたい。

そこで、高齢者の皆さんが団体で旅行され

る場合に、一定の基準の交付要綱を制定し、助成することはできなかお伺いしたい。

**答** 高齢者が団体で旅行される場合は、人当り1万円)があつたが、高齢者の皆様から「旅行助成金は必要ない」と断りがあり、平成16年度に廃止となつた。その後、各区老人会の旅行に際し、旅行期間中の健康管理、急病への備えを配慮し、看護師や保健師といった人的支援の要請に対し、業務に支障を来さない範囲で職員の派遣を行つてきました。

一定の基準要綱を定め助成できないかについては、現在のところ考えていないが、人的支援の要請があれば業務の状況等を勘案しながら支援していきたい。

**問** 73歳のお祝い以外に、高齢者が団体で旅行した場合に村から助成をした事例があるかどうかお伺いしたい。

確かに、その場合行政区、島袋義範議員



### 水産振興について

#### ①伊江漁業協同組合製氷、冷凍、冷藏施設の老朽化に伴う立て替えについて

農林水産課長／国・県の産地水産業強化支援事業を

県に働きかけたい

**問** 村の水産業漁獲高は、年々減少傾向にある。その中にあって、マグロ漁生産高向上のため、村単費で中期漁礁が設置され、平成22年度には中層型浮漁礁の設置事業が推進され一定の成果があらわれ、県内大手ス

パーと取引も行われている。しかし、漁船漁業の一番のウエイトを占めるソディカ漁は、長期間の遠出と燃料高騰などにより、厳しい状況にある。現在ソディカ漁船は22隻たり2トン近くの氷を必

要とする。ピーカク時には水不足となり、本部町や名護市で氷を積み込みしていることが多々あり、大きな負担となっている。

**答** 昭和60年度水産業構造改善特別対策事業で設置した製氷施設も老朽化しており、氷不足の対策が必要だが、製氷施設の建て替え計画についてお伺いしたい。

**問** 今後の立て替え計画について、国・県の産地水産業強化支援事業がり、伊江漁業協同組合と調整、協議を行い県に働きかけたい。

**答** この事業は基本的にはどうなっているか。

この事業は基本的に3年間で補助率は90%である。

**答** 漁業を営む上で安価な条件だと思料する。県の事業で漁業者の安

全操業の確保を支援する事業(一括交付金)の要望調査があり、伊江漁業協同組合と協議・調整し、平成25年度事業実施に向け取り組みたい。

**問** 現在の漁業は遠出の漁となり、安全面や魚場でのトラブル等の回避のため、無線機の設置は必要条件である。所属の漁船の多くが1Wないし10Wの無線機を使用している現状である。これらの無線機では、漁場でのトラブルや安全確保の面で問題があり、大変憂慮しているところである。しかし、現在の無線機から25W無線機へ買替えるには多額の経費が必要だ。安心して漁業に専念できるよう助成できないかお伺いした。

**答** 全確保が第一条件であり、そのためにも25W無線機の切り替えは必要な条件だと思料する。

漁業を営む上で安

**答** 今後は伊江漁業協同組合、生産者の声を聞いて、次年度に向けて取り組みたい。

請があれば、業務の状況等を勘案しながら派遣していきたい。

### ②漁船用25W無線機の助成について

農林水産課長／漁業者の安全操業の確保を支援する事業で25年度実施に向け取り組みたい

**問** 現在の漁業は遠出の漁となり、安全面や魚場でのトラブル等の回避のため、無線機の設置は必要条件である。所属の漁船の多くが1Wないし10Wの無線機を使用している現状である。これらの無線機では、漁場でのトラブルや安全確保の面で問題があり、大変憂慮しているところである。しかし、現在の無線機から25W無線機へ買替えるには多額の経費が必要だ。安心して漁業に専念できるよう助成できないかお伺いした。

**答** 全確保が第一条件であり、そのためにも25W無線機の切り替えは必要な条件だと思料する。

漁業を営む上で安

**答** 今後は伊江漁業協同組合、生産者の声を聞いて、次年度に向けて取り組みたい。

請があれば、業務の状況等を勘案しながら派

り、部助成の基準としてとらえるか。3番目に旅行費用の何割も定額を助成するのか等大体大きな4点項目に絞られると思う。その時々の要請に村長が応えるのではなく、が応えるのではなく、一定の基準を設けたほうがいいのでは。

**問** 73歳のお祝い以外に、高齢者が団体で旅行した場合に村から助成をした事例があるのか。また、その時の助成内容はどういったものかお伺いしたい。

確かに、その場合行政区、島袋義範議員

**答** 財政状況を考慮すると現在のところ、そういつたことは考えていらないが、実施する基準設定は大変重要な事例は見当たらないが、他の団体に対し、助成の要請を受け、協議した結果、診療所のご協力もいただき、ベテランの看護師を派遣した。その時の費用は全て団体側が負担している。村民が等しく享受できるよう各区で主催する高齢者の懇親旅行に際し、人的支援の要請を受けて協議した結果、看護師・保健師の人的支援の要請があれば業務に支障を来さない範囲で職員の派遣を行つてきました。

**問** 各区が主催する老人会の旅行やその他の団体に対し、助成の要請を受け、協議した結果、診療所のご協力もいただき、ベテランの看護師を派遣した。その時の費用は全て団体側が負担している。村民が等しく享受できるよう各区で主催する高齢者の懇親旅行に際し、人的支援の要請を受けて協議した結果、看護師・保健師の人的支援の要請があれば業務に支障を来さない範囲で職員の派遣を行つてきました。

**問** 73歳のお祝い以外に、高齢者が団体で旅行した場合に村から助成をした事例があるのか。また、その時の助成内容はどういったものかお伺いしたい。

確かに、その場合行政区、島袋義範議員

**答** 財政状況を考慮すると現在のところ、そういつたことは考えていらないが、実施する基準設定は大変重要な事例は見当たらないが、他の団体に対し、助成の要請を受け、協議した結果、診療所のご協力もいただき、ベテランの看護師を派遣した。その時の費用は全て団体側が負担している。村民が等しく享受できるよう各区で主催する高齢者の懇親旅行に際し、人的支援の要請を受けて協議した結果、看護師・保健師の人的支援の要請があれば業務に支障を来さない範囲で職員の派遣を行つてきました。

**問** 旅費の費用を一部助成の基準としてとらえるか。3番目に年齢の問題。2番目に何名から団体

で旅行した場合に村から助成をした事例があるのか。また、その時の助成内容はどういったものかお伺いしたい。



**問** 毎年襲来する台風は、本村の農水産物に多大な被害を与え、村民の生活に大きな影響を与えている。暴風域を抜けた後も、伊江港港内のうねりがおさまらず、カーフエリーが接岸できない状態が続き、欠航す

る事態となっている。スタビライザー（横揺れ防止機能付きのカーフエリーも、港湾内の問題で接岸できないのは島にとって大きな損失であり、村にも影響を及ぼす。カーフエリーが接岸でき

# ついて港湾の問題に

建設課長／今後も沖縄県に調査検討を要請し

対応を強く求めたい



山城 克己 議員

**答** 1点目、伊江港の現状は国や県の関係機関に要請や報告をしている。また、直接伊江港を管轄している北部土木事務所都市港湾班に、工事の進捗状況や管理等も合わせて隨時、連絡や報告をしている。

2点目、平成17年度の沖縄県事業評価委員会の審査時に、投資効果を勘案し計画変更を検討した結果、港内浚渫、防波堤（南）の改良、岸壁の嵩上げ等の計画変更を行った。今年度事業完了の予定である。村では防波堤（南）

そこで以下の点について質問したい。  
1、沖縄県港湾課に島の正確な状況報告はどうなされているか。  
2、今後の整備計画はどう考えているか。  
3、整備が長期にわたる場合、小型高速船の導入や、漁協（漁船）との連携は検討できないか。

1点目、伊江港の現状は国や県の関係機関に要請や報告をしている。また、直接伊江港を管轄している北部土木事務所都市港湾班に、工事の進捗状況や管理等も合わせて随时、連絡や報告をしている。

2点目、平成17年度の沖縄県事業評価委員会の審査時に、投資効果を勘案し計画変更を行った。今年度事業完了の予定である。村では防波堤（南）

**問** 船舶の課長や船員の声が建設課を通して実情が県に届いているか、伺いたい。

要望事項はすべて村からのヒアリングに話をしてやっている。また、必要に応じて船長も県港湾課のヒアリングに随行してもらい説明して

いる状況である。

**答** 本来うねりの問題であつて船の大きさの問題ではない。港湾のうねりを解消しない限り、どんなに大きな船を作つても接岸できないという大きな問題がある。便利な船を作るにしたがつて、逆に欠航日数が多くなるという現状が出てくる。その辺の対応について今後どう考えているか。

小艇高速船という話は前々から出ているが、台風等に関係なく港内のうねりだけ欠航するのはわずかな日数である。お互いの航海は、気象庁の気象情報や運航基準を考慮しながら運航を決定している。フェリーが大きくなつたから避難の回数が多くなるわけではないと思つ

**問** 伊江港は村民生活の重要な拠点であることは周知のとおりである。これまで港湾整備計画のもと、整備事業が進められてきたが、台風通過後や南からの強風時の波のうねりが港湾内に押し寄せ、フェリーが接

岸できず、欠航となり、村民生活に大きな影響を及ぼしている。また、物流に関しても荒天、降雨時の物資の取り扱い、欠航時の生鮮物の取り扱いに支障をきたしている。以下の2点についてお伺いしたい。

## 伊江港港湾整備について

建設課長／今後も沖縄県に調査検討を要請し、対策を強く求めていただきたい



内間 広樹 議員

# 村政の9月定例会一般質問 ここを問う！

**答** 1点目、伊江港港湾整備は沖縄県が事業主体となり、平成8年から平成17年度完了の予定で着手したが、沖縄県事業再評価委員会の審査時に、計画変更を検討した結果、港内浚渫、防波堤（南）の改良、岸壁の嵩上げ等の計画変更を行った。その事業の中で、波浪対策として防波堤（南）

が、以下2点についてお伺いする。

1、平成25年度より防波堤（南）の構造を不透過堤にすることや、沖へ約70m移動することで静穏度の効果を期待していたが、去つた台風通過後の状況を見ると、更なる改善が必要であり、今後も沖縄県に調査検討を要請し、対策を強く求めていただきたい。

2点目、現在、村内外

の貨物取扱は株式会社伊江貨物が取り扱っているが、台風時に荷受物が保管できるような倉庫はない。台風欠航時の生鮮物等を一時的に保管できる倉庫を考えると、取扱業

者等の意見や関係団体とも連携を図りながら検討していくことが必要だと考える。

## 障がい者自立支援について

**答** 総務課長／職員採用試験実施要綱による雇用を考えていく

**答** 伊江村役場においては、今年度法定雇用者数は達成しているが、以下2点についてお伺いする。

1、平成25年度より障がい者の法定雇用率が国、地方公共団体の現行2.1%から2.3%に引き上げになるが、伊江村役場の法定雇用者数は達成しているが、以下2点についてお伺いする。

2、障がい者のスキルアップ（パソコン操作技術）のため的人的支援が可能か

の貨物取扱は株式会社伊江貨物が取り扱っているが、台風時に荷受物が保管できるような倉庫はない。台風欠航時の生鮮物等を一時的に保管できる倉庫を考えると、取扱業者等の意見や関係団体とも連携を図りながら検討していくことが必要だと考える。



● 伊江港港湾整備に関する意見書 ●

沖縄県におかれましては、県政発展及び伊江村振興に御尽力なされておりますことに衷心から敬意と感謝を申しあげます。

さて、伊江港港湾整備は、第10次による伊江港港湾整備計画が平成15年度に伊江港岸壁等整備事業に名称を変更し長期計画にて進められ、平成17年度には沖縄県公共事業再評価委員会の審査にて費用対効果の検証がなされ計画を縮小し整備が進められてきています。その計画の中で港湾内うねり対策の整備として南防波堤の構造を不透過堤にすることや、沖へ約70m移動することで静穏度の改善を図り対処されてきていますが、今年の相次ぐ台風の通過後も港湾内のうねりによりフェリーが接岸できず欠航を余儀なくされている状況であります。

伊江港は島の玄関口として、平成23年度は年間47万人の利用者（1日平均約1,300人）があり、車両航送数も年間7万8千台（1日平均約210台）の利用数があります。また今年度から新造船フェリー「いえしま」も就航し快適な船旅を提供しています。

平成23年度の欠航日数は21日間、欠航便数が57.5回を数え、そのなかには港湾内のうねりの影響による欠航があります。生活用品や、特産物等の搬送、また疾病者の本島病院への通院にフェリー運航は必要不可欠であり、欠航は村民生活に大きな不安と影響を及ぼします。前述のとおり台風通過後のフェリー接岸時に伊江港湾内は、うねりの影響で船体が大きく揺れ動き、旅客の乗下船時に危険な思いをさせることもあり懸念しているところであります。

村民にとって海上交通は生活の根幹を成し、これまで県におかれましては、伊江港港湾整備に御尽力されているところではありますが、今後の本村振興にとって重要な役割を果たす伊江港港湾の整備、うねり対策を一日も早く講じ、実現していただきますよう、特段の御配慮をお願い申しあげます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成24年11月6日  
伊江村議会

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿



伊江港港湾整備に関する意見書を全議員出席のもと、沖縄県土木建築部部長に提出

●その他9月定例で「へき地学校給食用物資供給事業」に関する意見書、「しまふとうば」の普及促進に関する宣言決議も可決された

● 米兵による女性暴行致傷事件に関する意見書 ●

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加え、けがを負わせたとして逮捕されるという極めて悪質な事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与える。

在日米海軍によると、両容疑者は補給業務を支援する通常業務のため、14日から嘉手納基地で従事し、事件の発生した16日にはグアムに移動する予定であったとのことであり、短期間の滞在中に帰宅途中の女性に性的暴行を加えてけがを負わせるという蛮行に激しい憤りを覚え、断じて許すことのできない卑劣極まりない犯罪である。

復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件にも及び、本会は、事件・事故が発生するたびに、綱紀粛正、再発防止を徹底するよう米軍等に強く抗議してきた。

しかし、再び事件は発生し、むしろ悪質さを増している。戦後67年が経過した今日においても、基地から派生する事件・事故等に県民がその意思に反して巻き込まれる構図が、未だ継続している過酷な状況下にあることを如実に物語っている。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による悪質な事件に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

よって、本会は、県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

- 1 被害者及び家族への謝罪と完全な補償を行うこと。
- 2 加害者の厳正な処罰を行うこと。
- 3 米軍人・軍属等の徹底した綱紀粛正及び人権教育のあり方を根本から見直すこと。
- 4 日米両政府は、理不尽な日米地位協定の抜本的な見直しを行うとともに、  
基地の整理縮小・返還を促進すること。

以上、決議する。

平成24年11月6日 伊江村議会

あて先

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄特命全権大使、沖縄防衛局長

● 米兵による女性暴行致傷事件に関する抗議決議 ●

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加え、けがを負わせたとして逮捕されるという極めて悪質な事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与える。

在日米海軍によると、両容疑者は補給業務を支援する通常業務のため、14日から嘉手納基地で従事し、事件の発生した16日にはグアムに移動する予定であったとのことであり、短期間の滞在中に帰宅途中の女性に性的暴行を加えてけがを負わせるという蛮行に激しい憤りを覚え、断じて許すことのできない卑劣極まりない犯罪である。

復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件にも及び、本村議会は、事件・事故が発生するたびに、綱紀粛正、再発防止を徹底するよう米軍等に強く抗議してきた。

しかし、再び事件は発生し、むしろ悪質さを増している。戦後67年が経過した今日においても、基地から派生する事件・事故等に県民がその意思に反して巻き込まれる構図が、未だ継続している過酷な状況下にあることを如実に物語っている。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による悪質な事件に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

よって、本村議会は、県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

- 1 被害者及び家族への謝罪と完全な補償を行うこと。
- 2 加害者の厳正な処罰を行うこと。
- 3 米軍人・軍属等の徹底した綱紀粛正及び人権教育のあり方を根本から見直すこと。
- 4 日米両政府は、理不尽な日米地位協定の抜本的な見直しを行うとともに、  
基地の整理縮小・返還を促進すること。

以上、決議する。

平成24年11月6日 伊江村議会

あて先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米海軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事、在沖米軍艦隊活動司令官

## ◆◆◆台風17号通過後の被害状況視察◆◆◆



## 伊江村議会視察研修報告

### 1. 北部地区畜産共進会（参加者/議長・経済公営企業常任委員）

9月25日、第36回北部地区畜産共進会の視察を行った。北部全域より50頭の出品があり、伊江村は各部門計12頭が出品。審査の結果、最優秀賞全4部門、優秀1席に2部門が受賞し、北部代表として県大会出場を勝ちとり、畜産技術の高さを視察することができた。



▲北部地区畜産共進会を視察する経公委員

### 2. 第10回全国和牛能力共進会視察（参加者/全議員）

10月25日～28日、第10回全国和牛能力共進会が長崎県で開催され、視察を全議員で行った。5年に1度開催される全国規模の共進会で、38道府県から9区分に480頭の代表牛が出品。沖縄県代表として成雌第2区に川平区の長嶺勝次さん所有の「あゆり号」が出品され、優等15席の成績を収め、畜主及び関係者の努力に敬意を表したい。また、共進会視察を前後し、能古野島（のこのしま）アイランドパーク、伊木力（いきりき）農園、諫早干拓資料館の視察も行った。



▲全国和牛能力共進会



▲能古野島アイランドパーク



▲諫早干拓の説明を受ける

### 3. 第38回沖縄県畜産共進会（参加者/全議員）

11月8日、第38回沖縄県畜産共進会が南部家畜セリ市場で開催され、伊江村より4部門6頭の出品があり、農林水産大臣賞に山城和彦さん所有の「ふくかつただ号」が受賞し、団体の部では伊江村が見事2年ぶりの団体優勝を飾り、飼育管理技術の高さをみることができた。



▲審査の様子を視察する議員

### 4. 議会広報研修会（参加者/議会広報特別委員）

11月21日に沖縄県町村議会広報研修会が行われ参加した。「住民目線の議会広報紙を目指して」と題し、4町村の広報紙を参考に様々な事例を見聞きすることができた。今後ともわかりやすく、読みやすい紙面づくりに取り組んでいきたい。